2014年5月期
機関投資家向け決算説明会資料

［2014年7月15日］

経営方針

- 公明正大かつ信用あるオークション市場の創造と拡大
- 常に信用を重んじる中での慎重かつ大胆な挑戦
- 豊かで美しく潤いある生活文化の追求

SHINWA ART AUCTION

目次

2014年5月期　概況（連結）　3
企業集団の状況と事業セグメントについて　4
2014年5月期　連結　決算概要　5
2014年5月期　連結　B/S　6
2014年5月期　オークション関連事業　業績内訳　7
2014年5月期　取扱高・粗利益の推移　8
近代美術オークション 平均落札価額の推移　9
近代美術オークション インデックス　10
国内美術オークション市場の規模の推移　11
取扱アイテム及び高額落札作品　シェア比較　12
2015年5月期　財務方針　13
これまでの事業推移　14
オークション事業　Ⅰ　15
オークション事業　Ⅱ　16
2015年5月期　国内オークション事業戦略　17
2015年5月期　国際事業戦略　18
シンワアートオークション中期経営計画骨子　19
中期経営計画1年目（2014年5月期）を振り返る　20
中期経営計画2年目（2015年5月期）行動計画　21
戦略子会社　エーペック株式会社　Ⅰ　22
戦略子会社　エーペック株式会社　Ⅱ　23
戦略子会社　シンワメディコ株式会社　Ⅰ　24
戦略子会社　シンワメディコ株式会社　Ⅱ　25
戦略子会社　Ｊオークション株式会社　26
戦略子会社　2015年5月期　業績予想　27
戦略子会社　2015年5月期　業績予想前提条件　28
2015年5月期　5期連続黒字・連結収益急拡大　29
2015年5月期　連結業績予想　30
将来見通しに関して　31
会社概要　32

2014年5月期　概況《連結》

■ 実績

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
1,385百万円	135百万円	122百万円	108百万円

■ オークション関連事業・・・・シンワアートオークション株式会社、Jオークション株式会社（B/J&W）

オークション関連事業では、作品の募集環境に変化が少しずつあらわれており、市場の回復基調を背景に、全取扱高に占めるオークション取引の割合が、第22期から戦略的に力を入れてきたプライベートセールと比較して大きく増加したため、売上構成に大きな変化が生じ、売上高に占める手数料収入の割合が大きく増加しました。その結果、売上高は1,194,284千円、セグメント利益は前年度の営業利益と比較して約4倍の148,339千円となりました。

■ 再生可能エネルギー関連事業・・・・エーペック株式会社

再生可能エネルギー関連事業においては、群馬県渋川市において50kW級の小型太陽光発電施設11基を建設し、一部を販売するとともに、新たな建設用地の確保にも努めました。しかし、各電力会社への売電申請が集中し、認定を受けづらい状況にあるため、個々の案件開発に時間がかかり、その間の投資コストがグループ全体の収益を引き下げる要因となりました。また宮崎県西都市に１MWクラスの太陽光発電施設を取得し、2013年11月より売電事業を開始致しました。結果、売上高は190,303千円、セグメント損失△563千円となりました。

■ その他・・・・シンワメディコ株式会社

医療機関向け支援事業では、2013年６月より診療報酬債権ファクタリング事業を開始し、医療機関向けファクタリングのための具体的折衝を随時行っておりますが、当社の第７回新株予約権に係る資金調達の遅れと、当社からの一時貸付を再生可能エネルギー関連事業に対して優先的に行っていることにより、投資機会を見送る状況にあります。

企業集団の状況と事業セグメントについて

Ⅰ．オークション関連事業　シンワアートオークション株式会社（当社）
Ｊオークション株式会社（連結子会社）・・・当社から宝石部門を移管

Ⅱ．再生可能エネルギー関連事業　エーペック株式会社（連結子会社）

Ⅲ．その他　シンワメディコ株式会社（連結子会社）・・・医療機関向け支援事業

（持分法適用関連会社）　Asian Art Auction Alliance Co,Ltd

（単位：百万円）

	オークション関連事業・・Ⅰ	再生可能エネルギー関連事業・・Ⅱ	計	その他・・Ⅲ	合計
売上高	1,194	190	1,384	0	1,385
セグメント利益	148	△0	147	△12	135
セグメント資産	2,234	613	2,848	12	2,860
減価償却費	7	10	17	0	17
有形固定資産の増加額	5	302	307	0	308

2014年5月期　連結　決算概要

（単位：百万円）

	2014年5月期 計画	2014年5月期 実績	増減（対前年）		増減（対計画）	
			(額)	(%)	(額)	(%)
売上高	1,518	1,385	—	—	△132	△8.7
売上総利益	808	805	—	—	△2	△0.3
販売費及び一般管理費	669	670	—	—	1	0.1
営業利益	139	135	—	—	△4	△2.6
経常利益	120	122	—	—	2	1.6
当期純利益	110	108	—	—	△2	△1.7
四半期包括利益又は包括利益	—	101	—	—	—	—

注）当社は当期より連結決算を開始したため、増減（対前年）の記載はございません。

2014年5月期　連結　B/S

（単位：百万円）

［資産の部］	FY2014.5（連結）
流動資産	2,242
- 現預金	1,273
- ｵｰｸｼｮﾝ未収入金･売掛金	31
- 商品	462
- 製品	100
- 前渡金	235
- 繰延税金資産	40
- その他	99
固定資産	617
- 有形固定資産	305
- 投資その他	312
資産合計	2,860

（単位：百万円）

［負債の部］	FY2014.5（連結）
流動負債	912
- ｵｰｸｼｮﾝ未払金	52
- 短期借入金	696
- その他	163
固定負債	302
負債合計	1,215
- 資本金	920
- 剰余金	937
- 自己株式	△222
その他*	10
純資産合計	1,644
負債・純資産計	2,860

自己株式：
859,800株保有

自己資本比率：57.1%

＊「その他」には、包括利益・新株予約権・少数株主持分が含まれております。

2014年5月期　オークション関連事業　業績内訳

		取扱高	前年度比増減（%）	構成比（%）	売上高	前年度比増減（%）	構成比（%）
オークション事業	近代美術	1,720	19.1	40.0	429	1.2	35.9
	近代陶芸*	243	△19.9	5.7	54	△15.7	4.5
	近代美術 Part II	321	40.2	7.5	85	39.0	7.2
	その他	1,653	174.0	38.5	333	121.3	27.9
	小計	3,939	52.5	91.7	902	28.8	75.5
オークション関連その他事業	ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｾｰﾙ	205	△54.1	4.8	194	△54.2	16.3
	その他	153	△22.0	3.5	97	△20.8	8.2
	小計	358	△44.3	8.3	292	△46.7	24.5
合計		4,297	33.2	100.0	1,194	△4.4	100.0

本表の金額には当社の手数料及び消費税等は含まれておりません。

*近代陶芸オークション部門の取扱高、売上高が前年との比較で減少しているのは、「富本憲吉記念館 辻本勇コレクション」をその他オークション部門に含めたためであります。

2014年5月期　オークション関連事業　取扱高・粗利益の推移

（単位：百万円）

		FY2011.5	FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5
オークション事業	近代美術	2,392	1,571	1,445	1,720
	近代陶芸	253	208	304	243
	近代美術 Part II	234	246	229	321
	その他ｵｰｸｼｮﾝ	955	693	603	1,653
その他	ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｾｰﾙ	216	496	446	205
	その他	367	317	196	153
	取扱高合計	**4,419**	**3,534**	**3,225**	**4,297**

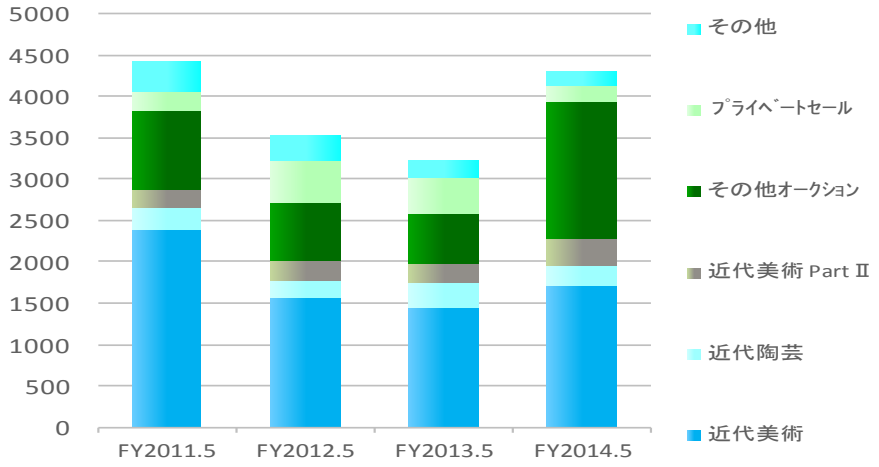
（単位：百万円）

	FY2011.5	FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5
手数料収入①	696	523	481	702
カタログ収入②	51	50	52	50
小計③＝①+②	**748**	**574**	**534**	**777**
④商品売上高	463	784	714	416
⑤商品売上原価	△378	△558	△515	△275
粗利益③+④-⑤	**834**	**800**	**733**	**891**

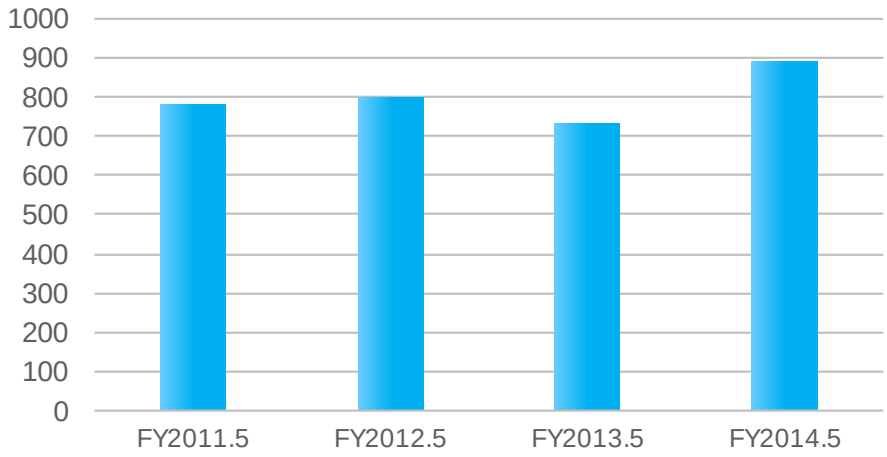
注：カタログ収入には会費、貸会場収入も含みます。

注：近代陶芸部門の取扱高が前年との比較で減少しているのは、「富本憲吉記念館 辻本勇コレクション」をその他オークション部門に含めたためです。

取扱高



粗利益



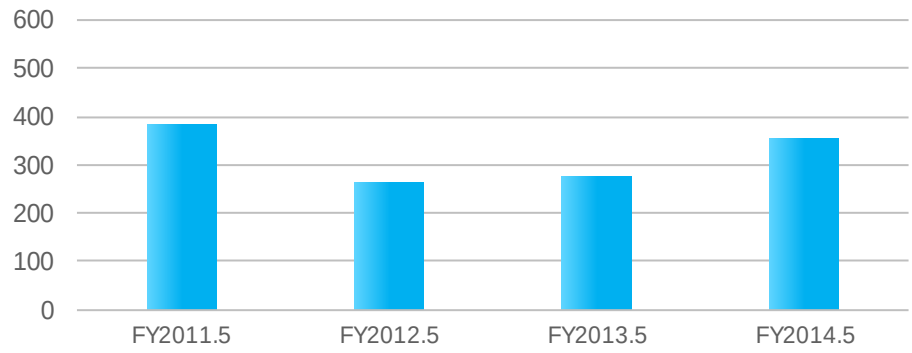
近代美術オークション 平均落札価格の推移

（単位：百万円）

	FY2011.5	FY2012.5	FY2013.5	FY2014.5
回数	5回	6回	6回	5回
出品数	701点	678点	576点	595点
落札数	621点	579点	516点	481点
落札率（%）	88.5	85.4	89.5	80.8
落札総額（百万円）	2,383	1,538	1,437	1,714
平均落札価格（万円）	383	265	278	356

注：アフターセールは含んでおりません。

■ 平均落札価格の推移



2014年5月期　主な落札実績

■ 杉山寧

「瞳」

落札予想価格：5,000万円～8,000万円

落札価格：1億8000万円

2014年4月19日　岩下記念館コレクション

☆☆1億円超の落札は平成21年3月開催オークション
岸田劉生「静物（砂糖壺・リーチの茶碗と湯呑・林檎）」
1億3500万円以来。☆☆

■ 板谷波山

「彩磁草花文花瓶」

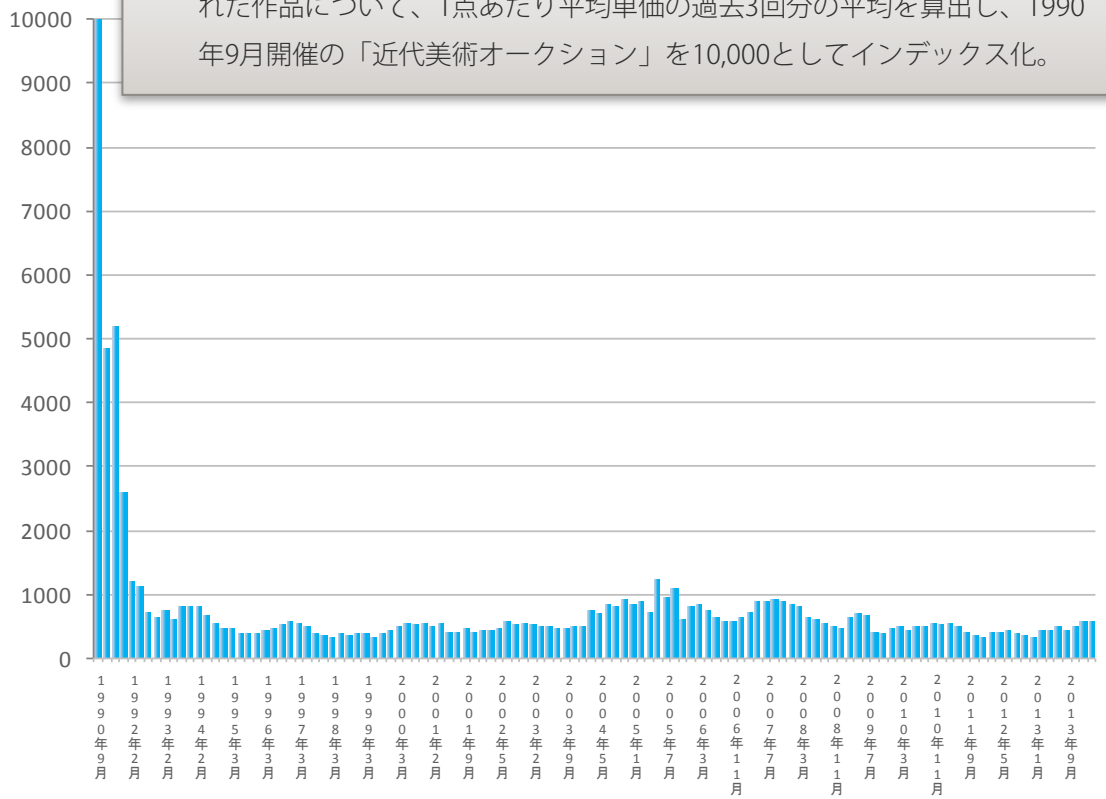
落札予想価格：3,000万円～5,000万円

落札価格：6,200万円

2014年4月19日　岩下記念館コレクション

近代美術オークション インデックス

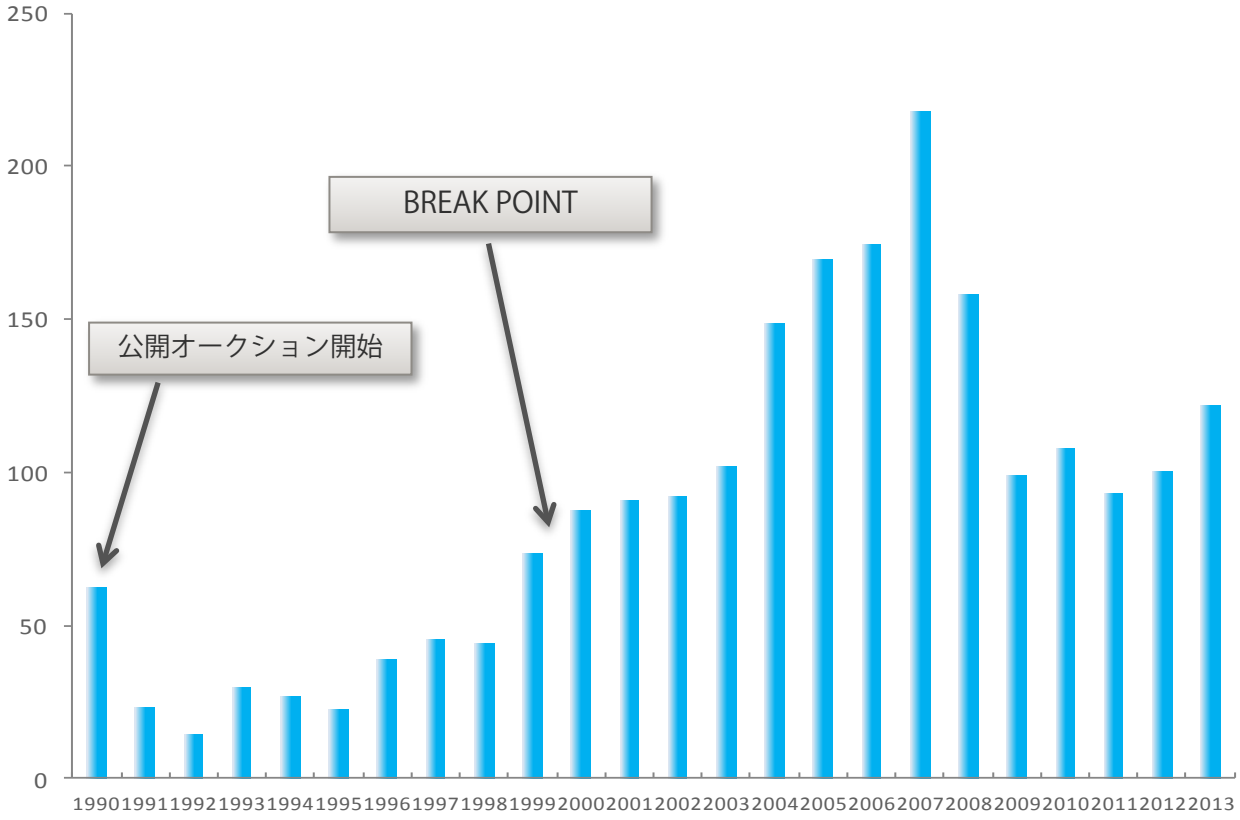
■ 過去のシンワアートオークション「近代美術オークション」において落札された作品について、1点あたり平均単価の過去3回分の平均を算出し、1990年9月開催の「近代美術オークション」を10,000としてインデックス化。



ｵｰｸｼｮﾝ開催年月	ｲﾝﾃﾞｯｸｽ
1990年　9月	10,000
1992年　2月	1,216
1993年　2月	764
1994年　2月	818
1995年　3月	459
1996年　3月	429
1997年　3月	549
1998年　3月	338
1999年　6月	325
2000年　3月	489
2001年　7月	403
2002年　3月	445
2003年　2月	527
2004年　3月	741
2005年11月	610
2006年　9月	571
2007年11月	891
2008年　9月	560
2009年　3月	631
2010年　3月	482
2011年11月	357
2012年　2月	最小 318
2012年　7月	452
2013年　7月	503
2013年 11月	496
2014年　1月	572
2014年　3月	580

国内美術オークション市場の規模の推移

（単位：億円）



暦年	落札推移（百万円）	前年比
1990年	6,256	-
1991年	2,300	-63.2%
1992年	1,479	-35.7%
1993年	2,945	99.1%
1994年	2,701	-8.3%
1995年	2,258	-16.4%
1996年	3,903	72.8%
1997年	4,549	16.5%
1998年	4,408	-3.1%
1999年	7,357	66.9%
2000年	8,765	19.1%
2001年	9,075	3.5%
2002年	9,211	1.5%
2003年	10,223	11.0%
2004年	14,857	45.3%
2005年	16,950	14.1%
2006年	17,426	2.8%
2007年	21,835	25.3%
2008年	15,774	-27.8%
2009年	9,903	-37.2%
2010年	10,777	8.8%
2011年	9,331	-13.4%
2012年	10,064	7.86%
2013年	12,276	21.9%

＊「月刊美術」2014年3月号より

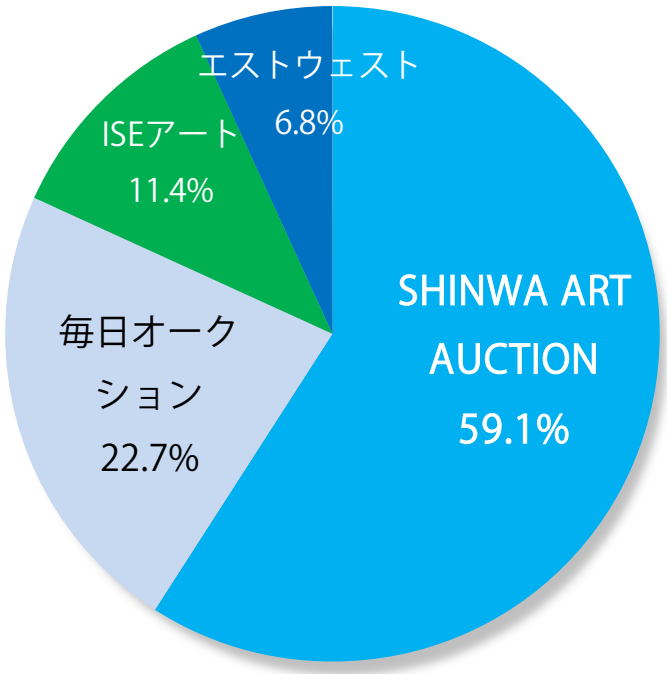
取扱アイテム及び高額落札作品 シェア比較

オークション名	年間回数	内容
近代美術	6回	近代日本画・日本洋画・彫刻・外国絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね20万円以上の作品（平均落札価格：約356万円）
近代陶芸	4回	近代陶芸・茶道具・漆芸・金工・古美術など、落札予想価格の下限金額が概ね10万円以上の作品（平均落札価格：約27万円）
近代美術 Part II	6回	版画・日本画・洋画・陶芸など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品（平均落札価格：約15万円）
Bags / Jewellery & Watches	4回	ブランド雑貨・時計宝飾品など、落札予想価格の下限金額が概ね2万円以上の作品（平均落札価格：約21万円）
西洋美術	不定期	西洋ガラス工芸・西洋磁器・西洋家具・西洋絵画など、落札予想価格の下限金額が概ね5万円以上の作品（平均落札価格：約20万円）
ワイン	不定期	高級ワイン
特別オークション	不定期	日本刀・プライベートコレクションなど

注：取扱アイテムの平均落札価格は2014年5月期期末時点

■ 高額落札作品市場シェア(2,000万円以上)

高額落札作品市場シェア　50%以上



＊ 暦年（2013）「月刊美術」2014年3月号より

2015年5月期　財務方針

従来の財務方針

- 経常黒字継続
- 配当性向30%以上継続目標
- 短期借入金の適正運用
- いかなる金融商品も保有せず
- 適正な在庫リスクコントロール
- 原則的には短期売却による短期損益確定
- 戦略在庫は適正仕入れによるリスクコントロール
- 内規に沿った適正な評価による引当金計上
- 実態ある時価総額経営へ移行
- 市場からの資金調達を積極化
- 純資産の拡大、大規模なプラットフォームを形成
- 有能な人材確保のため積極的な新株予約権発行

新たに加わる財務方針

連結ROE15%以上を目標

インフレを前提としたバランスのとれた安全資産と銀行融資の拡大

これまでの事業推移

第26期
2014年6月～2015年5月
～追い風続く！美術品価格単価上昇、太陽光発電ブーム選別化へ～

第25期
2013年6月～2014年5月
～アベノミクスは追い風、デフレ脱却へ～

第24期
2012年6月～2013年5月
～続く厳しい事業環境、中国経済鈍化、ユーロ金融危機～

第23期
2011年6月～2012年5月
～東日本大震災 / 暗雲拡がる事業環境～

第22期
2010年6月～2011年5月
３期ぶりの黒字・復配

第21期
2009年6月～2010年5月
アジア・欧米の美術市場は
緩やかな回復を始める中、
日本は兆し見えず・・・

第20期
2008年6月～2009年5月
急速に収縮した日本の美術市場
金融危機・リーマンショック

■ 第26期　連結収益急拡大

中期経営計画2年目・オークション好調・太陽光貢献

資本力強化・プラットフォーム拡大・太陽光発電施設建設ラッシュ・
メディカル資金調達模索・新たな安定事業の模索

■ 第25期　収益拡大、成長軌道初年度

中期経営計画始動・新規事業収益化

オークションプラットフォーム拡大開始・積極的な資金調達

■ 第24期　黒字維持努力、新たなる成長模索

新中期経営計画策定・発表

黒字維持・ディーリング強化・新規安定事業模索、新たなる成長戦略を模索

■ 第23期　黒字体質の確立・配当継続

経営資源を国内へ集中、国内新規事業展開

出品確保に注力、確実な収益の確保・短期の換金需要に対応しディーリング強化

■ 第22期　黒字へ向けた施策

経営資源を国内へ集中　⇒　近代美術への注力

会員制度・特約店拡大施策・新アイテムとしてブランド雑貨オークションを戦略的に開催

■ 第21期　アジア・欧米の美術市場底打ち

更なる機構・構造改革を断行

すべての経費アイテムの更なる見直し・削減 /固定賞与減額を続行
非収益的部門となっているアジアマーケティング部門をジョイントベンチャーへ移行

■ 第20期　リストラに始まる

会社規模の適正化・緊急リストラ策断行

徹底的な経費削減・・・役員報酬減額、役員賞与停止・希望退職者募集・本社機能移転・固定賞与の減額

2015年5月期　日本近代美術再生プロジェクト2年目
オークション事業Ⅰ　-　日本近代美術再生の担い手として

日本近代美術再生プロジェクト

- 資本力・経験・ネットワークで日本近代美術を再生
- 日本に安定的な美術市場のプラットフォームを創る
  （デフレサイクルでも底堅く市場を支えられるプラットフォームを、インフレの時期に確立する）

オークション事業の収益力を強化

- 日本近代美術の盟主として、日本近代美術の価値付け、向上、維持に責任を持つ
- 年間市場規模　最低1000億円を達成するための注力
- プライベートセールなどを含め、収益を上げながら、日本近代美術市場を下支えする
- プライマリーマーケットへの進出を模索
- 芸術的価値及び経済的価値の向上に寄与する啓蒙活動を継続する

2015年5月期　日本近代美術再生プロジェクト2年目
オークション事業 II　-　再評価と価値の安定化のために

日本近代美術の再評価

学術的研究・史料編纂 ← 国立近代美術館をはじめとした美術館、芸術大学

芸術的価値と経済的価値をリンクさせる ← シンワアートオークション

リンクさせるために必要なのは・・・

市場規模の 10 %の資金を安定化のために使う

オークションによる継続的なトラックレコード
世界規模でのコレクターネットワーク
コレクターへの啓蒙活動
価値を低下させないための 資本力
シンワアートオークションは、最低でも１００億円以上の純資産を確立し、安心できるプラットフォームの運用を目標

現在の日本の美術品オークション
取引高　年間 100 億円-150億円

本来あるべき市場規模は
最低でも 1000 - 2000 億円

2015年5月期　国内オークション事業戦略

新たなる成長に向けて、基幹事業で確実な収益確保。インフレを好機として積極展開

国内オークション事業

落札営業

- 高品質・高価格作品の販売強化
- 富裕層営業を更に強化
  →新たな参加者を積極誘導

出品営業

- 業者営業強化（特約店拡大）
  →アートディーラー囲い込み継続
- 法人出品営業強化・相続営業強化
  →企業・個人の換金需要を取り込む
  一括保証制度・前渡金制度利用促進

オークション派生事業

- 貴金属買取・宝飾品小売事業展開
  →安定売上と収益を計上

ディーリング強化

- マーケットメイクの拡大
  →積極的に銀行借り入れ枠を活用
  リスクを限定して買取促進、
  戦略的な在庫保有強化へ

2015年5月期　国際事業戦略　～　アジア地域における投資戦略

Asian Art Auction Alliance Co.,Ltd.の 21.1% を所有

戦略子会社J Auction 設立
香港にて宝石オークション再開

United Asian Auctioneers
ソウルKauction, シンガポールLarasati

シンワアートオークション新たなアジア戦略の構築
戦略子会社J Auctionによる香港での宝石オークション展開
国内集中で、アジア事業部の開設は、当面、凍結
AAAA (Asian Art Auction Alliance) と連携
アジア一帯のマーケティングとアライアンスを展開
人材・経営資源の拡散を防ぎながら、アジア圏のSHINWA プレゼンスを高める

日本の近代美術をアジアへ
日本近代美術をアジアのアート史に組込む

オークション事業以外にも
アジアの富裕層ネットワークを活用
医療ツーリズム等

シンワアートオークション中期経営計画骨子（平成25年1月20日発表）

オークション事業
日本近代美術再生プロジェクト

- ■ 資本力を駆使
- ■ マーケットメーカー機能構築
- ■ 既存の人材能力を最大限に発揮

アジア事業

- ■ アジアネットワークを活かす
- ■ アジア事業部活動開始
- ■ Asian Art Auction Alliance と連携

戦略子会社
（富裕層向け総合流通サービス構築）

- ■ 様々な新規事業を開発・育成
- ■ 外部の有能な人材の確保と活用
- ■ プロとの連携・即戦力で収益化

- □ 付加価値不動産事業（再生可能エネルギー）
- □ 医療分野（ホスピタルネットワーク）
- □ IT/IP 高額品インターネットオークション
- □ 金融サービス（美術品担保ファイナンス）
- □ 高級食材等宅配事業

中期経営計画1年目（2014年5月期）を振り返る

・日本におけるアートオークションプラットフォーム拡大の第一歩

・株式市場からの資金調達開始

・銀行を含めた資金調達能力の強化

・新株予約権発行による社内意識の明確化

・Jewellery & Watchesオークションを子会社化 （香港Jewelleryオークション再開）

・経営資源の活用のための子会社活動開始（太陽光発電・医療分野）

・宮崎県穂北太陽光発電所１MW取得・売電開始

・群馬県伊香保太陽光発電システム完成・分譲販売

・診療報酬債権ファクタリング開始

・診療報酬債権ファクタリングのためのファイナンスに苦しむ

中期経営計画2年目（2015年5月期）行動計画

・これから５－１０年を見据えた日本のインフレをにらみ、積極的な資産の拡大

・連結ベースでの収益急拡大をにらむ

・日本のアートオークションプラットフォームの拡大

・シンワアートオークション純資産２５億を目指す

・株式市場からの資金調達を継続

・銀行与信枠の拡大と、銀行借入枠の活用強化

・新株予約権発行を継続・社内意識を更に強化

・ Jewellery & Watchesオークション　香港・日本継続開催

・太陽光発電施設建設・販売加速・収益貢献へ

・診療報酬債権ファクタリングのファイナンススキームの確立

・医療ツーリズム等のメディカル事業の新たな事業モデルの模索

・新規安定事業の研究開発

戦略子会社　-　エーペック株式会社　I

宮崎県穂北太陽光発電所メガソーラー稼働中

20年間電力固定価格買取制度（42円 / kWh）を利用し、2013年11月より九州電力に売電開始

名　　称：　穂北太陽光発電所
場　　所：　宮崎県西都市大字穂北 3835-1、3835-2、3842-1
発　電　規　模：　約 1 MW（993.6kW）
年間想定発電量：　1,165,423kWh

2015年5月期には年間２MW以上の太陽光発電所の完成を予定

戦略子会社　-　エーペック株式会社　II

太陽光発電システム分譲予約販売開始　～ グリーン投資減税を活用 ～

今期分譲予定戸数
50kW換算で45基以上

標準的スペック（1基当たり）
容量 約50kW
（50kW未満）

固定売電収入受益期間
20年

機材
国産もしくは
質の高い外国製

総敷地面積
約200坪
（所有権もしくは借地権）

平均年間売電収入
約180万円

分譲販売価格
約3000万円
（国産機材使用の場合）

分　譲　実　績

群馬県伊香保　－　約50kW９基　約30kW2基→9基販売済

分譲販売予定地

宮崎県　－（約150kW）　　三重県　－　（約2ＭＷ）

千葉県　－（約800kW）

兵庫県　－（約800kw）

20年間の固定買取制度

電力会社と発電した電力をやり取りする一般的なシステムを利用しますが、平成24年度固定価格買取制度がスタートし、10kw以上の太陽光発電システムについては、発電した電力を全て、電力会社に、20年間、固定価格にて売却することができるようになりました。

グリーン投資減税（公的支援制度）

中小企業に限り、設備取得価格の7%相当額の税額控除

法人または青色申告をしている個人を対象に、普通償却に加えて取得額の30%相当額を限度として償却できる特別償却

法人または青色申告をしている個人を対象に、取得価格の全額を償却（100%償却、即時償却）できる特別償却

固定資産税の軽減措置

対象設備についてあらたに固定資産税を課されることとなった年度から3年分の固定資産税に限り、課税標準を、課税標準となるべき価格の2/3に軽減する。

【適用期間】平成26年3月31日まで

銀行融資・リースの活用

20年間の安定した電力収入を背景に、国産機材を利用した設備に関して、銀行融資やリースを活用することが可能となり、初期投資金額が少なくなることにより利回りが飛躍的に向上することが可能になります。

戦略子会社　-　シンワメディコ株式会社　Ⅰ

- 医療機関・介護施設向け診療報酬債権ファクタリング開始
  ※ 2013年6月　初の診療報酬債権ファクタリング契約締結
- 2013年は資金調達の遅れにより、診療報酬債権ファイナンススキームの確立、ファクタリングチーム編成に集中

- 2014年8月末までに、ファイナンススキームが確立できれば診療報酬債権ファクタリング事業に本格参戦
- 2014年8月末までに、ファイナンススキームが確立できなければ新たな事業コア開発の模索へ
- 集中出版株式会社と提携し、医療ツーリズムを展開。
  また、集中医療情報ナビの利用拡大に向けたプロモーション事業を模索

MediCon. × SHiNWA MediCo
集中高度先端医療受診倶楽部

- その他事業：医療機関・介護施設の買収/経営、再生医療関連事業への投資

戦略子会社　-　シンワメディコ株式会社　　Ⅱ

■　医療ツーリズム

集中出版株式会社と提携し、医療コンサルを通じて、アジアの富裕層及び中間層に日本の高度医療を紹介する

■　集中医療情報ナビと提携

shuchu-navi.com

病院検索・医薬品検索・医師検索サイトを生かす

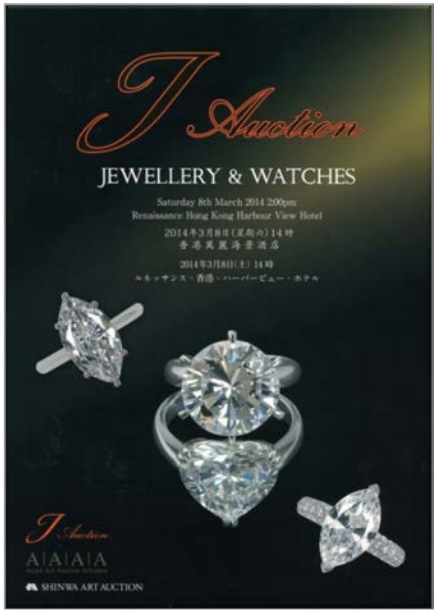
戦略子会社　-　Jオークション株式会社

宝飾品業界のプロとのアライアンス

宝飾品オークション会社として日本一を目指し、アジアで大きなプレゼンスを確立する

■　香港でのJewellery & Watchesオークションを再開
　　最低年2回開催予定

■　シンワアートオークションのJewellery & Watchesオークションを
　　引き継ぎ、国内で年間２～３回のオークションを開催予定



会社概要

商号	Jオークション株式会社
本店所在地	東京都台東区上野五丁目8番13号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小玉 啓一郎
主な事業内容	時計・宝飾品等を対象としたオークションの企画・開催・運営、古物売買及び委託売買ならびに輸出入
資本金	1,000 万円
出資比率	当社 51%

戦略子会社3社　-　2015年5月期・業績予想

	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	当期利益 (千円)
エーペック㈱	876,837	68,837	55,337	29,669
シンワメディコ㈱	7,264	1,464	1,464	1,464
Ｊオークション㈱	76,589	2,139	2,139	1,519

戦略子会社3社　-　2015年5月期・業績予想前提条件

エーペック㈱

2014年12月までに連系予定の太陽光発電施設を2015年5月末までに売却予定

[上記案件は、既に電力会社からの承認がおり、ファイナンスの目途が立っているものの中で、提携先から販売意向の表明があるものがほとんど。]

三重県の分譲販売予定2MWのうち、500kWを今期連系予定太陽光発電事業にとらわれない新規事業のための開発費用を10月より予算計上

シンワメディコ㈱

既存ファクタリングは継続

新規ファクタリング予定は、ファイナンススケジュールが確定するまで未定。ゼロ計上。

医療ツーリズム手数料を9月から計上

集中医療情報ナビ会員募集手数料収入を11月から計上

J Auction㈱

香港2回、日本2回のJ&Wオークションを開催予定

顧客開拓でトライアルオークション

2015年5月期　5期連続黒字・連結収益急拡大

2011年5月期　黒字浮上・復配

東日本大震災を乗り越えられるか!?

2013年5月期は3期連続黒字確保・配当継続
震災以降、デフレ進行でオークション出品低迷

ユーロ金融危機、中国鈍化、国内デフレ等、外部環境の悪化を乗り切る！

2014年5月期　デフレ脱却でオークション収益拡大達成

エーペック、シンワメディコ
初年度黒字化は未達成

2015年5月期　オークション収益・安定的に拡大

エーペックは連結収益貢献
シンワメディコはファイナンス次第で収益上乗せ
J Auctionは取扱高拡大による収益化を目指す

プラットフォーム拡大と、連結収益の拡大を目指す！

2015年5月期　連結業績予想

（単位：百万円）

	FY2014.5 実績	FY2015.5 計画	前年比（%）
売上高	1,385	2,161	56.0
営業利益	135	238	75.9
経常利益	122	219	80.0
当期純利益	108	134	23.6
1株当たり当期純利益*（単位：円）	20.39	23.73	

＊ 2013年12月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

（単位：百万円）

オークション事業取扱高	FY2014.5 実績	FY2015.5 計画	前年比（%）
近代美術	1,720	2,830	64.5
近代陶芸	243	240	△1.6
近代美術 Part II	321	300	△6.7
Bags / Jewellery & Watches	265	359	
西洋美術	135	160	18.1
特別	1,252	240	△80.8
その他事業	358	500	39.5
	4,297	4,631	7.8

※ 将来見通しに関して

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

会社概要

シンワアートオークションは、日本に高額品の換金市場を確立するため、公明正大なオークション市場の創造と拡大を目指しています。

■　年間約30回の公開オークションを開催

■　2013年の美術品オークション市場シェア… 25.3%

2013年の高額落札(2000万以上）市場シェア… 59.1%

（「月刊美術」より）

商　号	シンワアートオークション株式会社			
設　立	1989年6月15日			
資本金	920百万円			
本　社	東京都江東区有明3丁目7番26号 TEL　03-3520-0066			
役　員	代表取締役社長	倉田陽一郎	監査役	羽佐田信治
	代表取締役専務取締役	中川健治		足達堅
	取締役	泉山隆		佐野洋二
		石井一輝		
		木下邦彦		

SHINWA ART AUCTION